

～学校・保護者・地域をつなぐ学校だより～

椿キッズ

We are Tsubaki-kids.

第27号

鈴鹿市立椿小学校

Tel. 059-371-1014

令和4年11月24日

「校内音楽発表会」 & PTA共催「子どもの幸せを語る会」講演会



上：合唱「スキんフルシャクス」ミュージカル「キャッツ」に登場する郵便列車猫の歌 13拍子という超難しい曲です！！
下：合奏「銀河鉄道999」旋律のリコーダーがとっても難しい！！楽器はオーディションで選ばれました。

11月16日(水)に、4～6年生による、校内音楽発表会が行われました。保護者の方に参観していただき、子どもたちは緊張感でいっぱいでしたが、持てる力を精一杯発揮できた演奏であ

ったと思います。これから25日(金)の市内音楽会本番にむけて、ラストスパートを切っていきます！！

.....

また、その後、「子どもの幸せを語る会」改め、鈴鹿市教育委員会教育支援課の天野先生による「SNSの正しい使い方」の啓発ミニ講演会がありました。危険性について、動画を交えてわかりやすく解説していただきましたが、家庭でのスマホ・ゲーム機器の利用については、保護者の方のご協力が一番となります。この機会に改めてルールを見直していただけるとありがたいです。お子さんと一緒に最後まで聞いていただき、ありがとうございました。



■□5年生総合&人権学習～四日市公害に出会う～□■

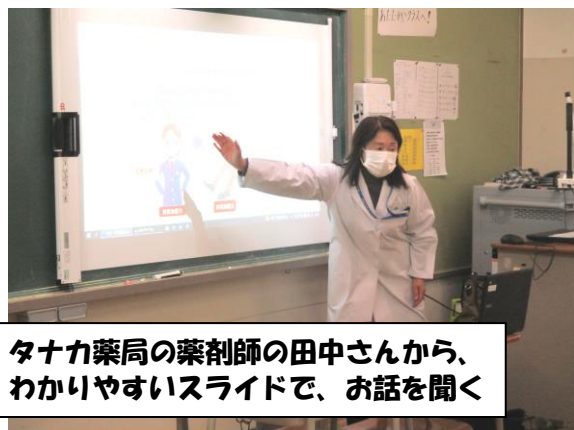
5年生が8時間かけて学んでいる四日市公害。判決が出て、今年で50年がたとうとしています。社会科の教科書に取り上げられていますが、授業で深く学ぶことはこれまであまりしてこなかったテーマです。子どもたちは、調べ学習をしてきた後、課題をもって学習を進めてきました。

そして、11月17日(木)に、当時公害問題に出会い、裁判や反対運動に関わっていたらしかった、伊藤三男さん(元高校教諭)をお招きし、当時の公害の様子や、そこに暮らしていた人たちのお声を聞くことができました。直接被害にあわれた方は、ほとんどお亡くなりになっています。当たり前呼吸をすることができないつらさ、愛着のある地で普通に暮らしたいという人々の願いに触れ、少し胸が熱くなりました。「裁判に勝ったから終わりなのではない。青空が戻った時にはじめて笑顔になれる」という言葉が印象的でした。また、それと同時に、身近に起こっていたこの出来事を深く学ぶ意義を感じました。



市民活動団体四日市再生「公害市民塾」の語り部伊藤三男さんから、熱のあるお話を聞く

■□6年生薬物乱用防止教室□■



タナカ薬局の薬剤師の田中さんから、わかりやすいスライドで、お話を聞く

同17日(木)いつも椿小の子どもたちがお世話になっている薬剤師の田中さんから、薬との付き合い方を教えていただきました。普段の薬の服用は、おうちの方の指示に従っている子どもたちですが、いずれは自己管理できるようにならなくてはなりません。そのために最低限の決まりは知っておく必要があります。薬の種類、「食前」「食間」「食後」の服用タイミングの違いなどの確認をしていただきました。また、「薬物」と言われるものに出会ったときに、どのように対応するのか、具体的なお話を聞きました。SNS等で、知らない世界に簡単につながる今、遠い世界の話ではありません。子どもたちには難しい話かもしれませんが

が、「巻き込まれないために大切なことは、すすめられても自分はいらない!!と断言すること。それだけ覚えていてもらったらいい。」と、おっしゃって見えました。その通りです。

***久しぶりのクラブ活動で楽しむ子どもたち・・・**

そして、いよいよ



みんな集中していますね!!
勉強の時はまた違う姿?(▽)/

♪音楽会♪



**休業はまだまだ続く…さらにレベルアップ」をめざして
いよいよ明日は鈴鹿市音楽会です!!
こころをひとつに、頑張ります!!**